

平成 3 0 年度 「犬山市の子どもたち」

－平成 3 0 年度 全国学力・学習状況調査から－

平成 3 0 年 4 月 1 7 日に「全国学力・学習状況調査」が、文部科学省によって行われました。この調査から見えてきた、犬山の子どもたちの状況をお知らせします。対象学年は、本年度の小学校 6 年生と中学校 3 年生です。調査の内容は、国語 A（知識問題）、国語 B（活用問題）、算数 A・数学 A（知識問題）、算数 B・数学 B（活用問題）、理科の 3 教科と質問紙による学習状況や生活の様子についての調査です。

この全国学力・学習状況調査の「学力（国語、算数・数学、理科について）」と「学習状況（学習状況や生活について）」の 2 点について犬山市の子どもたちの結果を分析しました。今回の分析は、全国との比較であり、本来の到達すべき目標とは差があります。各学校から配布される資料とともに「犬山市の子どもたち」を参考にいただきながら、お子様のご指導・ご支援に役立てていただけると幸いです。

小学校 6 年生

① 国語、算数、理科について

犬山市全体の国語、算数、理科の正答率を全国平均と比べて

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
小学校 6 年生	わずかに高い ほぼ全国なみ	わずかに低い ほぼ全国なみ	やや低い	やや高い	やや高い

学習に関する傾向

国語 A・B では、筋道立てて話す内容を考えることや、慣用句の意味を理解し適切に用いることは得意ですが、自分の考えを具体的に記述することは苦手です。算数 A・B では割合や図形の基礎は身に付いていますが、複雑な数量関係を捉えることが苦手です。理科は全体的に知識・理解は身に付いていますが、科学的思考を記述でまとめることは苦手です。

今後の取組として、国語については、問題文を丁寧に読み取ることや、自分の考えを具体的に書き表してまとめることなどに取り組む必要があります。算数については、数量関係を図示したり、段階を追って解答にたどり着けるような数学的思考力を養ったりする必要があります。解答が出ればよいだけでなく、解答を導き出す過程も大切です。理科については、国語と同様に自分の考えを整理して書き表すことに取り組む必要があります。

② 学習状況や生活の様子について

全体的に全国平均と大きな違いはありません。

全国の子どもたちと比べて、好ましく捉えられること

- 家で、学校の授業の予習・復習をしている。
- 家庭において、予習や復習、自主学習などに教科書を用いて学習している。
- 住んでいる地域の行事に参加している。
- 理科の勉強が好きで、授業の内容もよく分かる。

全国の子どもたちと比べて、努力する必要があること

- ◆ 毎日、決まった時刻に寝ていない。
- ◆ 読書の時間が短い。
- ◆ 算数の勉強があまり好きではなく、普段の生活の中で役立てられないかを考えることも少ない。

中学校 3 年生

① 国語、数学、理科について

犬山市全体の国語、数学、理科の正答率と全国平均を比べて

	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
中学校 3 年生	やや低い	わずかに低い ほぼ全国なみ	ずいぶん高い	ずいぶん高い	わずかに高い ほぼ全国なみ

学習に関する傾向

国語 A・B では、文の成分や構成を考えて短く答えることや古典の理解についてはよくできていますが、慣用句の意味や用法、歴史的仮名遣いについては苦手です。数学 A・B では、数や式に関することや資料の活用についてはとてもよくできていますが、図形の対称や証明に関することで苦手な部分があります。理科では第 1 分野の物理・化学的領域についてはよくできていますが、第 2 分野の生物的領域に苦手な内容があります。

今後の取組として、国語については、漢字の書きも含めて言葉の意味や用法を常に意識して学習に取り組むことが必要です。数学については全体的にまずまずできているので、細かな苦手部分をなくしていくことが必要です。理科について得意な分野は伸ばしつつ、気象や生物に関する部分の学習が必要です。

② 学習状況や生活の様子について

全体的に全国平均に届かない項目が多くなっています。

全国の子どもたちと比べて、好ましく捉えられること

- 自分にはよいところがある。
- 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりしている。
- 住んでいる地域の行事に参加している。
- 数学の勉強は好きである。

全国の子どもたちと比べて、努力する必要があること

- ◆ 家庭で計画的に勉強できていない。
- ◆ 決まった時刻の起床や就寝など、規則正しい生活を送れていない。
- ◆ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはあまりない。

犬山市における今後の取組

- ☐ 学習において、問題を読み解く力の育成を図ります。
- ☐ 自分で計画を立てて学習に取り組める子どもの育成を図ります。
- ☐ 家庭と協力して、規則正しい生活のリズムを身に付けられるようにします。

- ☐ 一人一人のよさや学級内での居場所を大切にした学習活動を展開し、満足感や達成感、教科の学習のおもしろさを味わうことができる授業を工夫します。
- ☐ 授業で学んだことが、実生活や今後の社会でどのように生かされるのか考える場面を学校生活の中に設定していきます。